

## NEWS

Vol. 96  
2022年 夏号

### 目次

- ウクライナ支援総合相談窓口を設置しました ..... 1
- 寄稿「私たちの社会で暮らす難民」 ..... 1~2
- 事業報告 ..... 2
- 市町村・地域自治功労者表彰 ..... 3
- 市町村国際交流協会の取り組み ..... 3
- 京都府国際センターからのお知らせ ..... 4

## ウクライナ支援総合相談窓口を設置しました

ウクライナから避難された方々へ生活・住居・教育・仕事などに関する情報を提供しています。支援を希望される方からのご相談にも応じています。電話、来所、Emailで受け付けています。

- 🕒 10:00~17:00 (休館日を除く)
- ☎️ 075-343-9666  
23言語対応 (ウクライナ語は予約制)
- 📍 京都府国際センター
- ✉️ ukr@kpic.or.jp (日英のみ)

### 義援金の受付について

京都府国際センター内に募金箱を設置しています。いただいた義援金は、京都府内に避難されている方の支援に活用させていただきます。多くの皆様からの善意の御協力をお待ちしております。

## 寄稿 私たちの社会で暮らす難民：日本に逃れてきた人たちに想いを寄せて

世界に衝撃を与えたロシアのウクライナ侵攻。「国を追われた人々を助けたい」と日本でも多くの人が、ウクライナから逃れてきた人の受け入れに賛同しました。

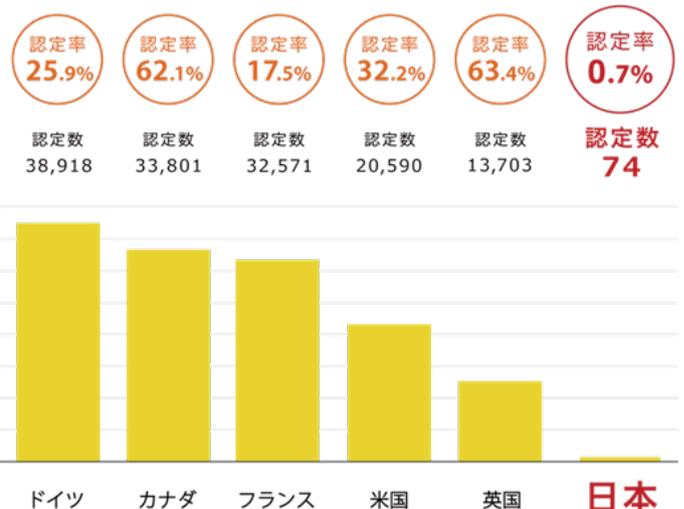
世界にはウクライナ以外にも、紛争や迫害によって移動を強いられた人がいます。難民の保護と支援を行うUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)によると、その数は78人に1人。全人口の1%以上が故郷を追われています。

難民とは、その中でも国境を越えて他国に庇護を求めた人を指します(2021年末時点の難民数は2,130万人)。難民の定義は難民条約で定められていますが、端的に言えば、母国に送り返されれば、命の危険や重大な人権侵害のおそれがある事情を抱えた人のことです。

日本にも難民としての保護を求めている人が多くいます。コロナ禍前は毎年1万人超の難民申請があり、コロナ禍の昨年は、入国制限等の影響で減少したものの、2,413人が申請しました。

しかし、難民認定数は、過去最高となった昨年で74人、難民認定率は1%以下。いわゆる先進諸国と比較しても極端に少なく、国際社会からも批判を浴びています。

### 難民認定：日本と世界の比較(2021)



難民認定率が低い理由として、制度が難民保護の視点で作られておらず、難民の判断基準が極端に厳格であること等、審査基準や制度に関する様々な課題が挙げられます。

また、人として生きていくために最低限必要な衣(医)食住すら満たされていない難民の人もいます。食べる物が無い、住む場所がない、お金がなくて病院に行けないなどは、残念ながら珍しい状況ではありません。

特に、在留資格がない人は、働くことも国民健康保険加入もできず、収容されてしまう人もいます。最低限の生活を送ることすらままならず、収容や母国への送還の恐怖を抱えながら、難民たちは、現実私たちに私たちの社会の中で暮らしているのです。

ウクライナから逃れてきた人たちに対し、共感や支援の輪が生まれてきたことはこれまでにない動きです。ただ、一方で他の難民は置き去りにされたままです。

例えば、難民申請者に対する唯一の公的支援である「保護費」の受給対象者は限定的で、2021年度はわずか250人でした。支援内容もウクライナ「避難民」への支援とは大きな隔たりがあります。

ウクライナ危機をきっかけに生まれた難民への支援の輪を、日本に助けを求める難民全体に広げていくためには、より多くの方が、ウクライナから逃れてきた人だけでなく、同じように国に帰れない状況にある難民にも想いを

寄せて、声を上げていくことが重要です。

そのために、まずは日本における難民の状況に目を向けてみてください。

#### 保護費とウクライナ「避難民」への支援の比較

	保護費	ウクライナ「避難民」への支援
対象	生活に困窮する難民申請者 (2021年度は250人)	身元引受のない者
生活費 (1日あたり)	1,600円	一時滞在施設: 1,000円+食事提供 一時滞在施設から出た後: 2,400円
住居支援	住居費として月4万円(単身世帯/敷金礼金のための一時扶助なし)を支給、もしくは難民認定申請者緊急宿泊施設に入居(2021年度の入居者は4人)	一時滞在施設の後に、自治体や企業などが提供する住居で生活
その他	支援開始まで平均85日(2021年度)医療費は必要に応じて国が実費を負担。	一時滞在施設から出る際、生活必需品購入のための一時金として16万円を支給。医療費・日本語教育費などは必要に応じて国が実費を負担。

※ウクライナ「避難民」への支援においては、一時滞在施設から出た後、生活費として月74,400円。

※難民申請者への保護費の場合、生活費・住居費として月89,600円(単身世帯、31日の場合)。

参考:難民支援協会「難民にまつわる12のよくある質問」

[www.refugee.or.jp/refugee/faq/](http://www.refugee.or.jp/refugee/faq/)

(認定NPO法人 難民支援協会 山田光樹)

## 事業報告

### 災害時支援

## 京都市国際交流協会との合同による

### 災害時外国人支援サポーター研修

2022年6月25日(土)、京都市国際交流会館(kokoka)で京都市国際交流協会の防災訓練と当センターの災害時外国人支援サポーター研修を行いました。合同での開催は初めての試みでしたが、計11カ国87名の方々にご参加いただきました。

前半の防災訓練では日本語、英語、中国語の3言語別のチームにわかれ、起震車体験や消火・応急処置訓練、防災に関する映像を視聴しました。

後半はベトナム出身で、阪神淡路大震災の被災経験をもつ神戸定住外国人支援センターのハ・ティ・タン・ガ氏を講師に迎え講演会を行いました。講演会の中では実際に避難所

で外国人住民と日本人住民の間で生じた問題をテーマとしたグループワークもあり、活発な意見交換が行われました。避難所に限らず文化背景の違いから問題が起こることはありがちなことですが、自分の価値観で物事を決めつけず、相手の話を聞き、相互に理解しあうことが、多文化共生の最初の一步になるということがよくわかる内容でした。講演の中で、被災地で「支援される側」であったガさんが、自分のできることを活かし「支援する側」として活躍されていた姿はとても印象的で、外国人は支援されるだけの立場ではなく、外国語やできることを通じ支援することもできるということを改めて教えられた講演会となりました。



起震車体験



グループワーク

当センターでは災害時外国人サポーターを募集しています。

日本の方だけでなく、外国籍の方で支援をしてくださる方もお待ちしておりますので、是非登録をお願いします。

[www.kpic.or.jp/saigai/appli.html](http://www.kpic.or.jp/saigai/appli.html)



## 市町村・地域自治功労者表彰 にほんご教室「世界はテマン」 & 京丹波町国際交流協会



にほんご教室「世界はテマン」(八幡市)

地域ボランティアによる日本語教室として、外国人住民の日本語習得や日常的な相談対応など、外国人住民との共生社会の実現や地域力の向上に貢献



京丹波町国際交流協会

交流姉妹都市(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州ホークスベリー市)との交流事業を通じ、地域における国際社会への理解醸成や支援拡充に貢献

### 表彰理由

※市町村・地域自治功労者表彰

市町村自治の振興と発展、地域の課題に対応した住みやすい地域づくりの推進に貢献した個人及び団体に対し、その功績をたたえ京都府が表彰するもの。

## 市町村国際交流協会の取り組み

## 地域の担い手として、この海を一緒に守るために ～京丹後市国際交流協会 ビーチクリーン活動～

2022年6月4日(土)、京丹後市の箱石浜で市国際交流協会主催のビーチクリーン(海岸清掃)が行われました。2018年から始まったこの活動も今年で5回目。10か国の外国人住民と家族連れの日本人住民など計45名の方々が参加されました。このイベントを企画した同協会事務局長の麻田友子さんにお話を伺いました。

### ——海岸清掃を始められたきっかけは？

京丹後には「丹後砂丘」と呼ばれる、久美浜町湊宮から網野町浜詰までの6kmのロングビーチや、白砂青松が美しい自慢のビーチがあります。しかし、京丹後に暮らす外国人の中で市内のビーチに行ったことがないという方が意外と多いことを知り、是非知ってもらおう機会を作りたい！という思いがありました。外国人市民へのアンケート結果で、「ボランティア活動を日本人と一緒にしたい」という意見が多かったこともあり、担い手の高齢化が進んでいた海岸の清掃活動を行うことにしました。

### ——参加者の反応はどうでしたか？

景色は絶景であるのに、ロングビーチの真ん中あたりは地形的に人が入りにくく、漂着ゴミが多いことに驚いていました。また、外国語の文字が書いてあるゴミも多く、「海で世界はつながっているので、世界中どこにいてもゴミ問題を自分ごととして考えたい」という感想も寄せられました。



### ——清掃活動のいいところはどんなところですか？

子どもから大人まで幅広い世代の方が参加でき、言葉が通じなくても、力を合わせてゴミを運んだりすることで打ち解けられるところです。清掃後、きれいになった砂浜でカニを見つけるゲームをし、自然の豊かさをみんなで共有できました。また、外国人参加者はきれいになった京丹後の砂浜を自身のSNSなどで発信してくれていました。京丹後市は「SDGs 未来都市」(※)にも選定されており、国籍に関係なく、同じ地域に住む市民として、一人ひとりが地域の担い手として、地球環境を守る意識を持ってもらえる機会となりました。

### ——今後の取り組みについて

当協会が主催して行う海岸清掃は年1回ですが、4月～7月にかけては市内各地の海岸で地区や団体などで毎週のように清掃活動が行われています。それだけゴミが多いということですが、今後は、ゴミを集めて捨てるだけではなく、ゴミを減らすための勉強会なども外国人市民と一緒にやりたいと思います。

京丹後市国際交流協会Facebook  
[www.facebook.com/kyotangokia/](https://www.facebook.com/kyotangokia/)

※「SDGs未来都市」とは…  
地方創生SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて優れた取り組みを提案する地方自治体を内閣府が選定。京都市内ではこれまで舞鶴市、亀岡市に続き、京丹後市と京都市が選定されている。

# 京都府国際センターからのお知らせ

## ●理事長の交代について

2010年12月から11年以上にわたって理事長を務めていただいた尾池和夫前理事長の後任として、山極壽一（やまぎわじゅいち）総合地球環境学研究所所長（前京都大学総長）が選出され、6月22日付で就任しました。



山極 壽一 新理事長

また、副理事長には、山本正 宇治市国際交流協会会長が同日付で就任しました。詳しくは以下をご覧ください。

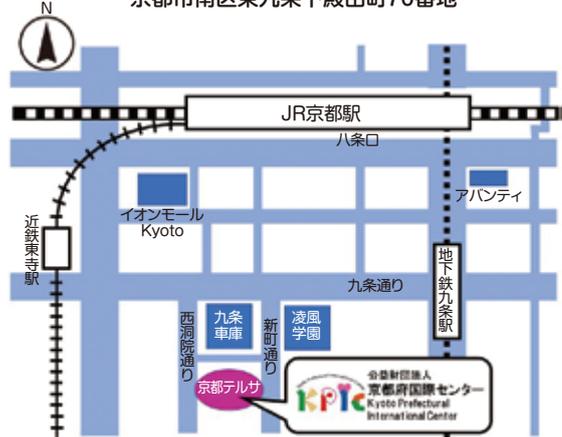
[www.kpic.or.jp/about/johokokai.html](http://www.kpic.or.jp/about/johokokai.html)



## ●10月1日に事務所が移転します

10月1日、現在のメルパルク京都から京都テルサ東館3階へ移転します。移転に関する詳しい情報は、随時ホームページ等でお知らせします。引き続き皆様のご利用をお待ちしています。

京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）  
京都市南区東九条下殿田町70番地



### アクセス

JR京都駅八条口西口から南へ徒歩約15分  
近鉄東寺駅から東へ徒歩約5分  
地下鉄九条駅から西へ徒歩約5分  
市バス「九条車庫」下車すぐ

## ●外国人住民のための専門家相談

無料 秘密は守ります

### ビザ相談 毎月第4日曜日

在留資格の変更・更新など  
協力：京都府行政書士会



[www.kpic.or.jp/soudan/visa.html](http://www.kpic.or.jp/soudan/visa.html)

### 法律相談 奇数月第2日曜日

結婚・離婚、労働、相続などの法的手続き  
協力：京都弁護士会



[www.kpic.or.jp/soudan/law.html](http://www.kpic.or.jp/soudan/law.html)

時間：13:00～16:00（一人30分・予約制）  
場所：当センターまたはオンライン（Zoom）

## ～賛助会員を募集しています～

当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会費】 個人会員／年額 1口 3,000円  
団体会員／年額 1口 10,000円

【特典】 ・センター情報誌など定期刊行物の送付  
・当センター主催の各種講座等への優先参加  
・当センター内の有料スペースを会員料金で利用可能  
・他団体との提携による会員特典

入会方法など詳しいことはHPをご覧ください。

[www.kpic.or.jp/about/sanjo.html](http://www.kpic.or.jp/about/sanjo.html)



## パスポート写真撮影のご案内

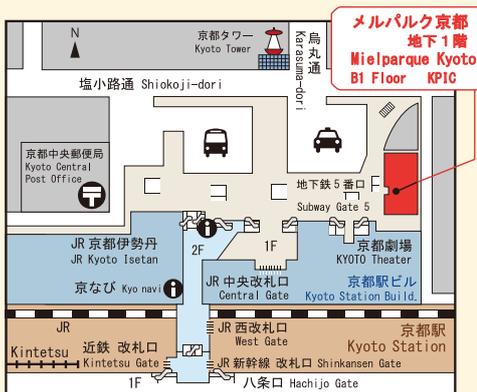
収益事業として、パスポート用の写真撮影を行っています。

【場所】 京都駅ビル8階  
（京都府旅券事務所の隣に併設）

【営業時間】 月曜日～金曜日 9:00～16:30  
（旅券申請受付時間と同じです）

【撮影料金(税込)】  
2枚 1,430円／4枚 1,980円

【お問い合わせ】  
TEL 075-342-5002



## 公益財団法人京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F (JR京都駅前 北口東側 (京都劇場側))

Tel : 075-342-5000

Fax : 075-342-5050 E-mail: main@kpic.or.jp

[www.kpic.or.jp/](http://www.kpic.or.jp/)

facebook [www.facebook.com/kpic.kyoto](http://www.facebook.com/kpic.kyoto)

開館時間／午前10時～午後6時

休館日／火曜日、祝日、年末年始 (12/29～1/3)

公益財団法人京都府国際センター NEWS Summer 2022 夏号 第96号  
編集・発行／公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

